

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:2023年 1月 10日

公表:2023年 2月 1日

事業所名 チャイルドウイッシュ五郎丸(第一・第二単位)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
境・体制整	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		翌日や当日の夕方等、忘れないうちに対応や対策などについて話し合っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価を実施していない。適任者専任の課題があり、設置に向けて検討する事項だと認識している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月1回以上の研修がある。研修が受けられるよう予定されている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		主観的にならないよう他職員に相談や確認を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの安全面を考慮し似通った内容になりやすい。行事政策を取り入れ静と動の活動のどちらも楽しめるよう工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	△		継続的かつ連続性のある支援が必要。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日及び翌朝行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ケガやトラブル等、全員で作成している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		誰でも参加できるよう普段から社員研修を実施しています。		
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい			該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		△	保護者様が希望されていないケースや、学校及び園で十分機会がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		スタッフが偏らないよう、順番に参画している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		不適切行動があった際に効果的だった対応策をHUGや送迎時に伝えている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		相手のペースに合わせてお伝えしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から相談などあったときは気持ちに寄り添いつつ、保護者の負担が少ない範囲で取り組みそうなアドバイスをしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍で実施できず。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		通信やSNSを利用して情報発信をしている。SNSの更新回数を増やした。	
	35	個人情報に十分注意している		7	写真を掲載する際は個人が特定されないよう手元のみ、全身・半身はぼかす等工夫している。利用者だけでなくスタッフに見掲載許可を確認している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	町内会にも参画していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、内容を変えて実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修情報にアンテナをはり、多くの研修参加の機会を設けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			該当なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			